

## 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名: ファインクール 21(原液)  
会社名: 平和テクニカ株式会社  
住所: 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-48-4  
担当部門: ファインカット営業部  
電話番号: 046-251-3755  
FAX 番号: 046-255-5840  
Mail アドレス: [info@heiwa-tec.co.jp](mailto:info@heiwa-tec.co.jp)  
緊急連絡先: 同上  
作成年月日: 2016年11月21日  
改訂年月日: 2024年6月21日  
推奨用途/使用上の制限: 切削潤滑油としての推奨用途以外には使用しない。

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類: ※「区分に該当しない」「分類できない」は省略  
物理学的危険性: —  
健康に対する有害性  
皮膚腐食/刺激性: 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分1  
皮膚感作性: 区分1  
発がん性: 区分2  
生殖毒性: 区分2  
特定標的臓器全身毒性(単回ばく露): 区分1(肝臓)  
区分2(腎臓、呼吸器系、神経系)  
特定標的臓器全身毒性(反復ばく露): 区分1(気道)  
区分2(血液、肝臓、腎臓)  
健康に対する有害性  
水生環境有害性 短期(急性): 区分3  
水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

GHSラベル要素:

シンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	<p>皮膚刺激</p> <p>重篤な眼の損傷</p> <p>アレルギー性皮膚炎反応を起こすおそれ</p> <p>発がん性のおそれの疑い</p> <p>生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い</p> <p>肝臓の障害</p> <p>腎臓、呼吸器系、神経系の障害のおそれ</p> <p>長期にわたる、または反復ばく露による気道の障害</p> <p>長期にわたる、または反復ばく露による血液、肝臓、腎臓の障害のおそれ</p> <p>長期継続的影響により水生生物に有害</p>
注意書き:	
安全対策	<p>使用前にSDSを入手すること。</p> <p>すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。</p> <p>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。</p> <p>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。</p> <p>取扱後は製品が付着した体の部位をよく洗うこと。</p> <p>保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。</p> <p>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p> <p>この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。</p> <p>環境への放出を避けること。</p>
応急措置	<p>皮膚についた場合： 多量の水で洗うこと。</p> <p>特別な処置が必要である、【4. 応急処置】を参照すること。</p> <p>皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。</p> <p>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。</p> <p>眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>直ちに医師に連絡すること。</p> <p>飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡に連絡すること。</p> <p>気分が悪い時は、医師に相談すること。</p>
【保管】	施錠して保管すること。
【廃棄】	内容物や容器は都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
	GHS分類による上記注意書きに記載がない場合でも、以降の情報を参考に安全対策/応急処置/保管廃棄/に関し十分な配慮を行うこと。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:	混合物
化学名又は一般名:	水溶性研削液

成分及び含有量： 非公開

化学物質管理促進法(PRTR法)、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する物質は【15.適用法令】に記載。

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
呼吸に関する症状が出た場合： 医師に連絡すること。
- 皮膚(または髪)に付着した場合：  
大量の水と石鹸で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合： 医師の診断／手当てを受けること。  
汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
気分が悪いときは医師の診断／手当てを受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状、並びに最も重要な徴候及び症状：  
眼に入ると炎症を起こす可能性がある。  
皮膚に触れると炎症を起こす可能性がある。  
ミストを吸入すると気分が悪くなる可能性がある。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤： 粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、泡消火剤
- 火災時の特定危険有害性： 現在のところ有用な情報なし
- 特定の消火方法： 周囲の設備等に散水して冷却する。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身をまもること。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具：  
直ちに全ての方向において適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外は近づけない。  
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。  
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。  
作業者は適切な保護具【8. ばく露防止及び保護処置】を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。適切な保護具を着用していない場合は破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
- 環境に対する注意事項： 環境への放出してはならない。

河川・下水道などに排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

漏出物を取扱うときに使用する全ての設備を設置する。

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合：

乾燥土、砂等の不燃材料で吸着させて密閉できる空容器に回収し、更にウエス等で完全に拭き去る。

大量の場合：

盛土で囲って拡散防止をはかってから掃き集め、空容器に回収後、安全な場所にて処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

【8. ばく露防止及び保護処置】に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
火花、静電気等で発火しないよう、着火源が出来ないように注意する。

安全取扱注意事項：

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

火気厳禁。

周辺での高温体、スパーク、火気の使用を禁止する。

吸入、飲み込みを避けること。

静電気対策として装置、機器等の接地を確実にを行う。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つため、排気用の換気を行うこと。

接触回避：

こぼさない、触れないように注意する。

こぼした時は【6. 漏出時の措置】を参照すること。

保管

安全な保管条件：

熱、火花、裸火等の着火源から離して保管すること。

禁煙。 通気性の良い場所で容器を密閉し、高温、直射日光を避けて保管する。

酸性の製品と離して保管すること。

安全な容器包装材料：

アルカリに弱い容器以外で、密閉式の破損しないものを使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

濃度基準値：

八時間濃度基準値 1mg/m<sup>2</sup>(ジエタノールアミン)

保護具：

呼吸用保護具：

換気が不十分な場合には、適当な呼吸保護具を着用すること。

手の保護具：

不浸透性保護手袋を着用する。

眼の保護具：

保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型またはゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具：

適当な保護衣、保護面、保護靴等を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状：

液体

色:	黄色
臭い:	僅かな原料臭
融点/凝固点:	データなし
沸点:	データなし
可燃性:	データなし
爆発下限限界:	データなし
引火点:	なし、但し水が蒸発し固形分のみになれば可燃性となる可能性がある。
自然発火点:	なし
分解温度:	データなし
pH(原液):	データなし
pH(20倍希釈):	9~10
動粘性率:	データなし
溶解度:	水に対し可溶
n-オクタノール/水分配係数:	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び相対密度:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

## 10.安定性及び反応性

反応性:	強酸と反応する。
化学的安定性:	通常の手扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性:	通常の手扱いでは危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件:	高温・直射日光を避ける。
混触危険物質:	酸化剤、液性が酸性のもの等
危険有害な分解生成物:	一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )、アンモニア(NH <sub>3</sub> )、その他の有機物分解ガス

## 11.有害性情報

### 急性毒性

経口:	データが不十分で分類できない。
経皮:	データが不十分で分類できない。
吸入:	データが不十分で分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分1とした。
呼吸器感作性:	データが不十分で分類できない。
皮膚感作性:	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分1とした。
生殖細胞変異原性:	データが不十分で分類できない。

発がん性:	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分2とした。
生殖毒性:	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分1(肝臓)とした。 本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分2(腎臓、呼吸器系、神経系)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分1(気道)とした。 本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分2(血液、肝臓、腎臓)とした。
誤えん有害性:	データが不十分で分類できない

---

## 12.環境影響情報

水性環境有害性 短期(急性):	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分3とした。
水性環境有害性 長期(慢性):	本製品自体の測定データはないが、配合成分の区分を基に、混合物として区分3とした。
生態毒性:	データなし
残留性分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	データが不十分で分類できない

---

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。本製品を含む廃液並びに洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

---

## 14.輸送上の注意

国際規制

国連分類: 該当しない

国内規制

陸上： 消防法	非危険物
海上： 船舶安全法	非危険物
航空： 航空法	非危険物
特別の安全対策：	輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積込、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

## 15.適用法令

### 化学物質管理促進法

第一種指定化学物質	ジエタノールアミン	18%
	ヘキサヒドロ-1,3,5-トリス(2-ヒドロキシエチル)-1,3,5-トリアジン	1.2%

### 労働安全衛生法

(表示、通知	ジエタノールアミン	18%
リスクアセスメント	トリエタノールアミン	8%
対象物質)	パラターシャリーブチル安息香酸	1%

### 労働安全衛生法

(不浸透性の保護具等	トリエタノールアミン
の使用義務物質)	パラターシャリーブチル安息香酸

毒物及び劇物取締法： 非該当

消防法： 非危険物

## 16.その他の情報

### 参考資料

許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果  
 原材料SDS  
 GHS 混合物分類判定システム

### 免責文

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の手続きを対象としたものです。

本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。